

タイトル	トビウオになるためには
ポーランド語のタイトル	Być jak latająca ryba
テーマ *	c
名前	カタジナ ドマレツカ
ポーランド語の名前	Katarzyna Domarecka
学校名 * 2	ワルシャワ大学
学年	4年生
日本滞在歴	なし

* a. 異文化理解 b. 現代の諸問題 c. 私の大切なもの d. 私からの未来へのメッセージから選択

皆さんはウィンドサーフィンをやったことがありますか。ウィンドサーフィンとは、細長いボードの上に三角形のセイルがついていて、そのセイルで風を受けながら水面を走るスポーツです。実は私はスピード狂で、ウィンドサーフィンなら、私が切望するアドレナリンの分泌を促してくれるにちがいないと思い、中学で始めました。

しかし、実際始めてみると、本当に地味で退屈でした。朝 6 時にウォームアップをし、浜辺でセイルの操作を飽きるほど繰り返し、やっとのことで海に入れると思ったら、重いボードを沖の方までズルズルと引きずらなければなりません。それだけで疲れ果ててしまう上、初心者ではまだ大きなセイルをコントロールできないので、何度も海に落ち、ずぶ濡れになりました。また、風にセイルを取られるため、しょっちゅう頭をマストにぶつけ、大きく腫れてしまいました。さらに二日に一回は誰かのボードが泥や岩に引っかかり、それを引き上げるのに何時間もかかりました。練習はきついのに成果は十分に感じられず、「もうやめよう」と何度も思いました。

そんなある日、合宿で目覚めると、雨がザーザー降っていました。ビーチに出ると、風が顔に吹き付けてきて、ほとんど見えません。普段は穏やかな入り江の岸边には、泡立つ巨大な波が打ち寄せていました。「今日はさすがに海には入らないだろう」と思ったのも束の間、先生の「さあ、みんな、海に飛び込んで！」という元気な声を聞き、私は希望を失いました。新しい趣味を楽しむためにこのコースに申し込んだのであって、死ぬために申し込んだのではないのです。

ボードに乗ったとき、私は二つのことを考えました。一、「私、泳げない。溺れたらどうしよう。」二、「こんな天気でセイルをコントロールするなんて絶対無理！」私は絶望的な気持ちで目をかたくつぶり、海に出ました。すると… 何と、海に落ちることなく走ることができたのです。

セイルは引き締め、ボードは水面を滑るようにすごいスピードで進みました。こんなに自由で気ままな気分は初めてで、まるで大海原で戯れるトビウオのようでした。その日、私は初めてボードがフルスピードで一気に走る喜びと興奮を覚えました。ほんの一瞬の出来事でしたが、私はウィンドサーフィンの魅力にとりつかれ、またあの興奮を味わえるよう、さらに熱心に練習を重ねました。

今思えば、はじめに長い間、基礎練習をやり続けたからこそ、セイルのコントロールが上手になったんだと思います。やはり、はじめはつまらなくても、コツコツと練習を続けることが大切です。これは他のことにもあてはまります。毎日漢字をコツコツ覚えなければ、私の大好きな大江健三郎の小説は読めません。つまらないことでも練習を続ければ、きっとそれが実を結び、人生が楽しくなります。だから皆さん。皆さんも新しいことに挑戦する時は、コツコツ、根気強く、最後まで頑張ってください。

Streszczenie (60-70 słów)

Chociaż windsurfing to obecnie mój ulubiony sport, początki były trudne. Codzienne, monotonne treningi frustrowały mnie i nie przynosiły rezultatów, chciałam więc zrezygnować. Przełom nastąpił, gdy udało mi się zapanować nad żaglem w trudnych warunkach pogodowych. W tamtym momencie pokochałam windsurfing. Dzięki temu doświadczeniu uświadomiłam sobie, że kluczem do osiągnięcia celu jest wytrwałość i ciężka praca – przy zgłębianiu nowych umiejętności najważniejsza jest nauka podstaw, nawet gdy wydają się one zbędne.